

DMSS変更点について

- ・ DMSS仕様変更について・・・2p
- ・ セキュリティ基準について・・・3p
- ・ バインド(オーナー)からデバイス共有について・・・4p
- ・ 1アカウントでの複数デバイス登録イメージ図・・・5p
- ・ バインド元(オーナー)と共有ユーザーの違いについて・・・6~8p
- ・ デバイス共有機能について・・・9p
- ・ バインド解除リクエストについて※強制解除・・・10p

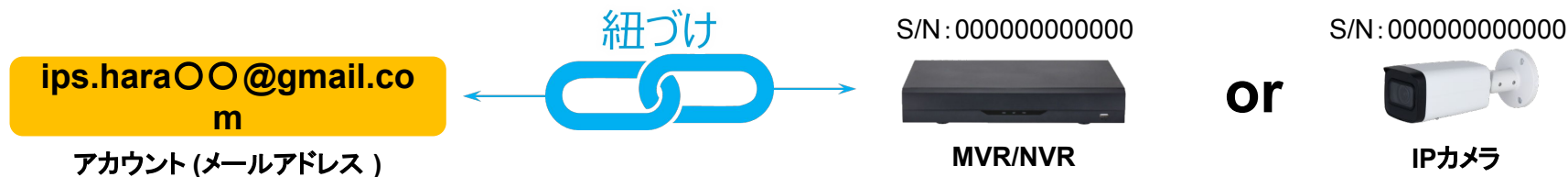
【要点】

- ・2025年11月以降、DMSSは**アカウント登録が必須**になります。
- ・機器は**必ず“バインド”**(所有者アカウントへのひも付け)**が必要**です。未バインドでは運用不可。
- ・これは個人データ保護とアクセス管理強化のための仕様変更で、他の主要メーカー(Hikvision、Uniview)も同様の仕組みを導入済み。

【用語説明:バインドについて】

バインドとは、カメラや録画機(NVR/MVRのS/N)を**特定のアカウント**と紐づけること

※スマホ端末ではなく、アカウントと紐づけ



【なぜ必須となるのか？】

防犯カメラや遠隔閲覧アプリの世界的な流れとして、2018年頃よりセキュリティ基準が強化。

特に中国や欧米では、従来のシリアル番号だけの登録は脆弱だとされ、国際基準として“必ずアカウント認証を通す”仕組みに変更

この変更により、

- ・不正アクセス防止
- ・紛失時のアカウント側からの制御
- ・顧客に「国際基準のセキュリティ」

と説明できる強みが実現



今回の変更は、世界で最も厳しいと言われているEUのセキュリティ基準に対応した仕組みです。

※EUのGDPR(一般データ保護規則)

ips.hara〇〇@gmail.com

①



A端末



シリアル(録画機A)
情報を登録



A端末



16台まで
デバイス共有可能

ips.ota〇〇@gmail.com

②



B端末



シリアル(録画機A)
情報を登録



A端末にバインドされ
ている為、登録不可

③

デバイス(録画機A)
を共有する

※オーナーが新しく共有すると共有さ
れた側に通知が届く

ips.ota〇〇@gmail.com



B端末

自動で録画機A
情報が表示



B端末

アカウント(メールアドレス)

ips.hara〇〇@gmail.com

DMSS
アカウント登録



原則 1アカウント
1端末(スマホ)で運用

録画機 A



録画機 B



録画機 C

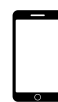


録画機 D



1アカウントで
デバイス登録上限は記載なし

録画機 A
バインド(オーナー)
状態



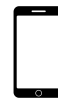
共有ユーザーは 16
アカウントまで可能

共有ユーザー
※録画機 A



×16

録画機 B
バインド(オーナー)
状態



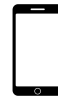
共有ユーザーは 16
アカウントまで可能

共有ユーザー
※録画機 B



×16

録画機 C
バインド(オーナー)
状態



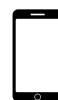
共有ユーザーは 16
アカウントまで可能

共有ユーザー
※録画機 C



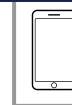
×16

録画機 D
バインド(オーナー)
状態

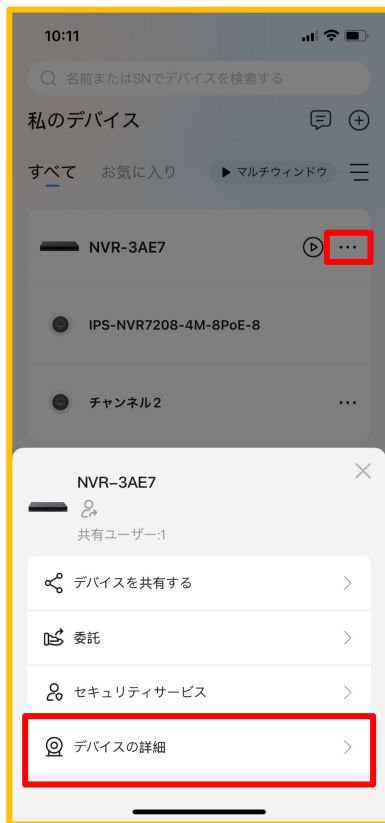


共有ユーザーは 16
アカウントまで可能

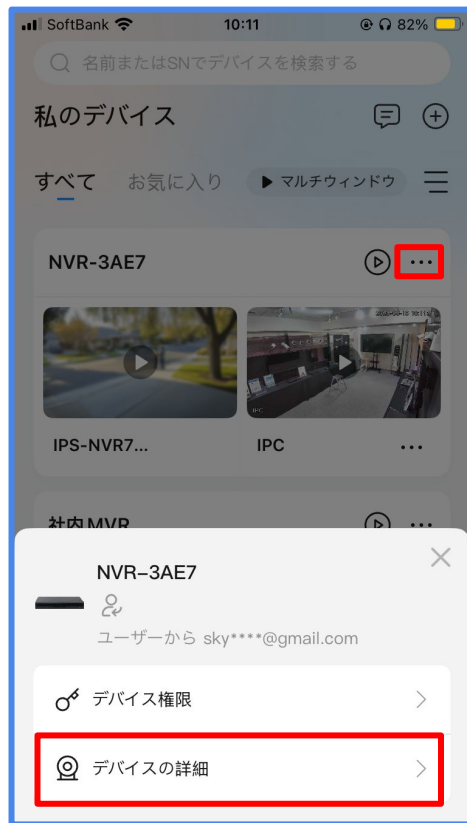
共有ユーザー
※録画機 D



×16



バインド元(オーナー)



共有ユーザー



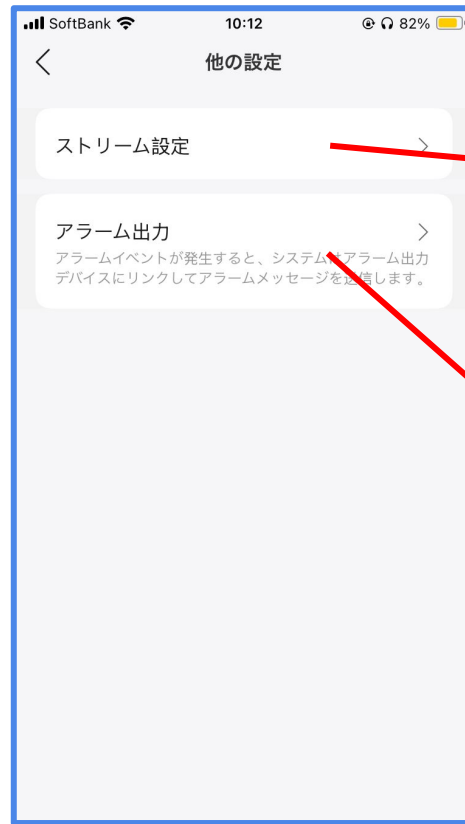
バインド元(オーナー)



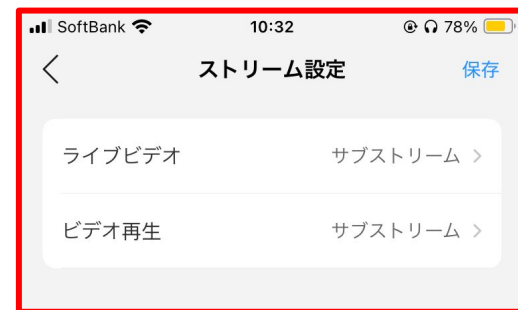
共有ユーザー



バインド元(オーナー)



共有ユーザー

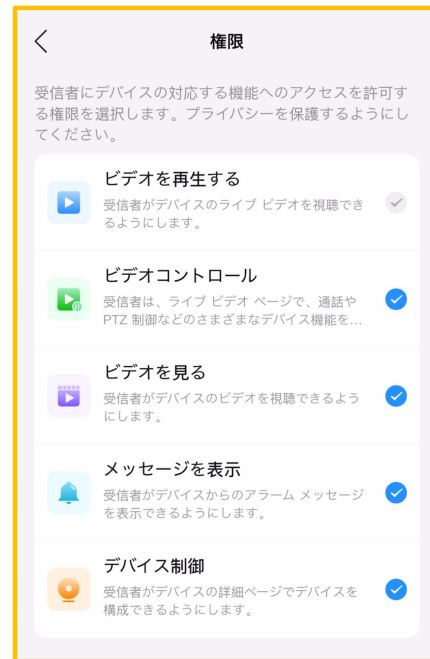


・デバイス共有機能

DMSSでは、自分のアカウントに登録したカメラやレコーダーを、他のユーザーと共有することができます。

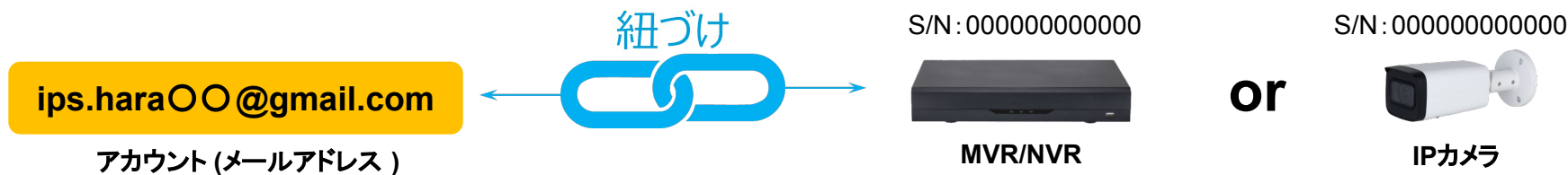
共有する際には、相手が利用できる機能を細かく指定することが可能です。例えば、

- ・ライブ映像の閲覧のみ許可
- ・音声の利用(マイク・スピーカー) / カメラの操作(PTZコントロール)の可否
- ・再生(録画データの閲覧)の許可
- ・プッシュ通知の許可
- ・アラーム連動制御の許可



このように、共有する相手に応じて「できること／できないこと」を柔軟に設定できるため、セキュリティを保ちながら利便性の高い運用が可能

「バインド解除」とは、カメラや録画機（NVR/DVR）が特定のアカウントに紐づけられている状態を解除する操作です。



機器を別のアカウントで利用したい場合や、端末を紛失・交換した場合に必要となります。



既にバインドされているデバイス(NVR/DVR)を登録し、「解除のリクエスト」をタップし、
次の画面でデバイス(NVR/DVR)の admin/パスワードを入力するとバインド解除されます。